

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 28 年 6 月 23 日 (2016.6.23)

【公表番号】特表 2015-519233 (P2015-519233A)
 【公表日】平成 27 年 7 月 9 日 (2015.7.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-044
 【出願番号】特願 2015-515034 (P2015-515034)
 【国際特許分類】

B 3 2 B 3/12 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 3/12 B

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 4 月 27 日 (2016.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

40～90 重量%の脂肪族ポリアミドポリマーと、前記ポリマーの全体にわたって均一に分布した 10～60 重量%の不連続繊維とを含むハニカムコアであって、

(i) 前記ハニカムは融合セル壁がなく、

(ii) 前記繊維が、炭素、ガラス、パラ-アラミド、またはこれらの組合せであり、かつ

(iii) 前記繊維が 0.5～10 mm の長さを有する、コア。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のハニカム構造物と、前記ハニカム構造物の少なくとも一方の外面に取り付けられた少なくとも 1 枚の表面板とを備える複合パネル。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

実施例 11 は、比較例 C と比べた場合、不連続強化用繊維の存在のためにより高い靱性、せん断、および圧縮などの機械的強度特性を有することになる。

本発明のまた別の態様は、以下のとおりであってもよい。

〔1〕40～90 重量%の脂肪族ポリアミドポリマーと、前記ポリマーの全体にわたって均一に分布した 10～60 重量%の不連続繊維とを含むハニカムコアであって、

(i) 前記ハニカムは融合セル壁がなく、

(ii) 前記繊維が、炭素、ガラス、パラ-アラミド、またはこれらの組合せであり、かつ

(iii) 前記繊維が 0.5～10 mm の長さを有する、コア。

〔2〕前記繊維がランダム配向の状態にある、前記〔1〕に記載のコア。

〔3〕前記繊維の少なくとも 20 重量%が特定の方向に配向している、前記〔1〕に記載

のコア。

〔４〕前記ポリアミドが、ナイロン６、ナイロン６６、またはポリフタルアミドである、前記〔１〕に記載のコア。

〔５〕前記〔１〕～〔４〕のいずれか一項に記載のハニカム構造物と、前記ハニカム構造物の少なくとも一方の外面に取り付けられた少なくとも１枚の表面板とを備える複合パネル。

〔６〕前記表面板が、ポリマーフィルム、樹脂含浸繊維、または金属シートである、前記〔５〕に記載のパネル。